

ヤマトグループ環境方針

ヤマトグループは、将来にわたり豊かな社会を支える企業として、環境保護に寄与する事業活動を行います。持続可能な社会的インフラとして、環境に配慮した商品・サービスを提供し、現代そして将来の世代の生活基盤である地球環境を守り、健康で豊かな社会の実現に貢献します。

1. 環境負荷の低減と汚染の予防

- (1) 環境に配慮した調達を行います。
- (2) エネルギーを効率よく使い、エネルギー使用量を減らすとともに、再生可能エネルギーの利用を進めます。気候変動を緩和するために温室効果ガスの排出実質ゼロを目指し、温室効果ガスの排出を削減します。
- (3) 限りある資源を大切にし、再使用や再利用を進め、廃棄物を減らし、資源循環を追求します。
- (4) 生物多様性を守る土地の利用や適切な化学物質管理を行います。
- (5) 大気や水、土壌などへの環境汚染防止に努め、人の健康や環境への悪影響を最小限にします。

2. 持続可能な商品・サービスの提供

- (1) 商品やサービスのライフサイクルにおける環境影響を考慮し、暮らしを豊かにし、環境負荷がより少ない商品やサービスを開発・提供します。
- (2) 環境に配慮した商品やサービスの積極的な提案・提供を通して、社会におけるカーボンニュートラルの実現および持続可能な消費形態への移行をリードします。

3. 環境マネジメントとコンプライアンス

- (1) 経営トップが環境マネジメントシステムの実施に責任を持ち、環境パフォーマンスを監視し、継続的に改善します。
- (2) 環境に関する法規制や国際的な基準、合意事項、自主基準等を遵守します。
- (3) 協力会社を含め事業に関わる全ての人々が環境への意識を持つために、知識を深める機会を提供し、日々の事業活動における環境負荷の低減と価値の創出を推進します。

4. 連携とコミュニケーション

- (1) 生活の豊かさと環境保護を実現する価値の創出を目指して、様々なパートナーとの連携・協力を深めます。温室効果ガスの排出削減による気候変動の緩和や気候変動の影響への適応等、環境課題を解決し、レジリエンスを高めるために協力して技術利用や取り組みを進めます。
- (2) ステークホルダー・エンゲージメントを行い、コミュニケーションや環境情報の開示を充実させ、事業活動の透明性を高めて信頼獲得に努めます。

2021年 制定